

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	富士宮市 222071
地域名 (地域内農業集落名)	北部地域 (村山、粟倉地区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	150.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	150.2 ha
② 田の面積	2.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	148.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	20.43 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.3 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)遊休農地17.8ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するよう努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

北部地区の特色として、国道469号線と接し、富士山南陵工業団地が進出して産業集積が進む一方、農業については耕作地は緩やかな傾斜地にあり、主に茶畠や畠地帯を形成している。また一部では酪農も行われるなど農地利用の多様性も垣間見える。担い手については、先代から経営基盤を継承した担い手が多い一方、市民等が営農団体を立ち上げ、荒廃農地の開墾や農業学習体験講座を主催するなど、多様な担い手による活動が見受けられる。今後はこうした担い手、非担い手がお互いのメリットを活かしながら、新たな担い手の発掘や特色ある農業の展開が図れるよう、経営基盤の強化および活動に対する伴走型の支援が必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・農地利用効率化の推進:

工業立地に伴う交通アクセス、従来の担い手による営農、非担い手による農地利用といった特色を活かし、多様性を活かした農地利用を推進する。加えて中間管理事業を積極的に推進して集積の促進を図る。併せて、畠かん未整備地への基盤整備事業の実施による耕作条件の改善を目指すため、地域内の議論を深める。

・産地化の推進:

露地野菜、酪農など、地域における産地化に向け、地域内の議論を深める。

・担い手の確保:

中間管理機構による農地のマッチングを進めつつ、外部から担い手を招聘するなど、積極的な担い手の活用を行う。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを基本とし、担い手への農地の集積及び集約化を進めていく。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	23 %	将来の目標とする集積率	80 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

農地中間管理機構の貸借を活用し、今後も引き続き担い手への農地集積・集約を進めていく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

主要な担い手に対しては、経営基盤強化に向けた多方面における支援を図りつつ、農地の利用集積を推進する。中でも酪農に関しては、自給飼料の増産が目指せるよう多方面から支援する。非担い手の種々の活動に対しては、新たな農業スタイルのモデルケースとしてみつつ、半農半Xや下限面積緩和等、農地利用の流動化を加速させるため、市・農業委員会が一体となって制度の周知徹底に努める。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

農業上利用が行われる農地について、積極的に農地中間管理機構を活用し農地集積を行う。

(3) 基盤整備事業への取組

大規模な基盤整備事業に取り組む予定はないが、茶園集積事業、茶園転換事業や荒廃農地再生・集積促進事業等を活用し、耕作条件の向上を図りながら、中間管理事業を通じて農地集積を進めていく。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

市と農協、県が連携し、担い手の外部からの招聘と育成に取り組みつつ、既存集落内の担い手たちの意向に沿った経営農地のあっせん等に取り組む。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

現在、活用予定はない。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・農地のあっせん、マッチングを含めた情報共有に対する体制強化を行っていく。
- ・半農・半Xなど、多様な農業者が農業参入できるような制度を充実させる。
- ・有機茶の振興を図るため、環境保全型農業直接支払交付金や、みどりの食料システム戦略における有機農業拠点創出・拡大加速化事業などに取り組む。
- ・スマート農業の推進。
- ・鳥獣被害防止対策を推進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上 の表示	備考
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行なうことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 2	肉用牛	0.04 ha	ha	肉用牛	0.04 ha	ha	2	
2	認農 12	茶	0.32 ha	ha	茶	0.32 ha	ha	12	
3	認農 15	露地野菜	1.34 ha	ha	露地野菜	1.34 ha	ha	15	
4	利用者 16	露地野菜	3.21 ha	ha	露地野菜	3.21 ha	ha	16	
5	認農 18	露地野菜・茶	1.33 ha	ha	露地野菜・茶	1.33 ha	ha	18	
6	認農 20	酪農	1.18 ha	ha	酪農	1.18 ha	ha	20	
7	認農 21	酪農	7.63 ha	ha	酪農	7.63 ha	ha	21	
8	認農 91	酪農	1.94 ha	ha	酪農	1.94 ha	ha	91	
9	認農 100	複合野菜	0.47 ha	ha	複合野菜	0.47 ha	ha	100	
10	認農 109	肉用牛	0.05 ha	ha	肉用牛	0.05 ha	ha	109	
11	認農 110	酪農	1.63 ha	ha	酪農	1.63 ha	ha	110	
12	利用者 143	露地野菜	1.07 ha	ha	露地野菜	1.07 ha	ha	143	
13	利用者 157	露地野菜	0.42 ha	ha	露地野菜	0.42 ha	ha	157	
14	認農 237	露地野菜	1 ha	ha	露地野菜	1 ha	ha	237	
15	認農 249	肉用牛・牧草	0.44 ha	ha	肉用牛・牧草	0.44 ha	ha	249	
16	利用者 255	花木	0.36 ha	ha	花木	0.36 ha	ha	255	
17	認農 260	花木	1.3 ha	ha	花木	1.3 ha	ha	260	
18	認就 266	ヒサカキ、シキミ等	0.34 ha	ha	ヒサカキ、シキミ等	0.34 ha	ha	266	
19	認農 269	水稻・露地野菜	0.13 ha	ha	水稻・露地野菜	0.13 ha	ha	269	
20	認農 272	茶	0.21 ha	ha	茶	0.21 ha	ha	272	
21	利用者 274	露地野菜	1.11 ha	ha	露地野菜	1.11 ha	ha	274	
22			ha	ha		ha	ha		
23			ha	ha		ha	ha		
24			ha	ha		ha	ha		
25			ha	ha		ha	ha		
26			ha	ha		ha	ha		
27			ha	ha		ha	ha		
28			ha	ha		ha	ha		
29			ha	ha		ha	ha		
30			ha	ha		ha	ha		
31			ha	ha		ha	ha		
32			ha	ha		ha	ha		
33			ha	ha		ha	ha		
34			ha	ha		ha	ha		
35			ha	ha		ha	ha		
36			ha	ha		ha	ha		
37			ha	ha		ha	ha		
38			ha	ha		ha	ha		
39			ha	ha		ha	ha		
40			ha	ha		ha	ha		
41			ha	ha		ha	ha		
42			ha	ha		ha	ha		
43			ha	ha		ha	ha		
44			ha	ha		ha	ha		
45			ha	ha		ha	ha		
46			ha	ha		ha	ha		
47			ha	ha		ha	ha		
48			ha	ha		ha	ha		
49			ha	ha		ha	ha		
50			ha	ha		ha	ha		
51			ha	ha		ha	ha		
52			ha	ha		ha	ha		
53			ha	ha		ha	ha		
54			ha	ha		ha	ha		
55			ha	ha		ha	ha		
56			ha	ha		ha	ha		
57			ha	ha		ha	ha		
58			ha	ha		ha	ha		
59			ha	ha		ha	ha		
60			ha	ha		ha	ha		





